

地区名 山の手地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉懇談会（8/4、2/2） ・今後の取り組みについての打ち合わせ（10/21） ・地域の支え合いのつどい（柏崎市よろんごの木の講演）7/28 ・ワンコイン（11/17 打ち合わせ、11/26 ワンコインいこてば、こいてば酒場） ・おせち料理配食事業（12/14 山の手地区・小須戸中学校打ち合わせ、12/30 訪問、1/21 反省会） ・山の手ふれあいまつり（9/23） ・合同防災訓練（11/12） ・花いっぱい運動（5/11、11/18）
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を継続していくには協力者が必要になるが、保護者世代のボランティアが少ない。 ・若い世代で活動を検討し、そこに年配者が協力していくような環境になるとよい。それには仕掛けも必要であり、それが5年後、10年後にもつながっていく。 ・事業の参加者からは好評だが、いつも同じ顔ぶれになっている。 ・地域活動に関わる方が増えてほしい。 ・避難行動要支援者の中には支援を遠慮される方が多く、個別に声を掛けていくことが大切。 ・自治会で支え合いのしくみづくりを行い、近くで支援していくことが必要になってくる。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの挨拶が素晴らしい。小さい頃から地域の中でコミュニケーションが取れている。 ・小中学校と連携し子どもたちと一緒に活動する機会を多く作ることができた。大人になったときに先頭に立ってくれることを期待したい。 ・ほほえみほのかの前を小学生が通るとき利用者や職員に声を掛けてくれる。 ・矢代田小の PTA では部会をなくして、必要な時に呼びかけることで負担感が軽減した。このやり方を地域活動でも取り入れることはできないか。 ・ワンコインなどまずやってみたら楽しく、それぞれ役割を持ってできた。 ・前回の福祉懇談会では自治会長に参加してもらい、いろいろな話を聞いてよかった。
<p>活動の様子</p>	
<p>次年度へ向け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが人との交流を通して元気でいられるよう、ふれあいまつり等継続 ・若年層のボランティアを増やし、後継者育成を目指す（学校との連携、子どもの参加で親も参加、部を超えたつながり等） ・自治会や企業と連携した子どもの見守り ・小須戸コミ協や小中学校と連携した防災訓練の継続 ・避難行動要支援者に対する確認等を継続 ・自治会長が参加できるようなテーマを設けた福祉懇談会の開催 ・ワンコインの周知と世代間交流等の内容について検討 ・イベントや事業等への参加者を増やす工夫 ・ほほえみほのかと子どもたちの交流の機会を作る

[参加者] 山の手コミ協：横山会長、又地副会長、森副会長、保科事務局長、春日事務員

防災防犯部：坂野部長、古泉副部長 環境部：高野部長 福祉部：増井副部長

健康スポーツ部：五十嵐部長、白木副部長 ふれあい事業部：村上部長

秋葉区社協：横山、藤田、時田